

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して。。。)

記入年月日	平成 21 年 1 月 25 日
事業所名	グループホーム憩
事業所番号	2391300031
記入者名	職名 管理職 氏名 岩田明子
連絡先電話番号	(052) 791-8859

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	憩独自の理念を作り上げ、理念に沿って、利用者がその人らしく幸せに暮らしていけるよう、意志を尊重し強制しないように努めている。	理念を職員が見やすい場所に掲げ、憩独自の理念を作り上げています。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝、理念を読み、理念の実践に向けて職員は努力し続けている。また、カンファレンスにより意志統一を図っている。	職員は理念に沿って、利用者が明るく幸せに過ごせるよう、日々取り組んでいる。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	地域の人々に理解して頂けるよう、少しずつ近隣の方々をはじめ地域に浸透していきたい。	運営推進会議を開催しており、さらに出席を図っていく。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	出来る限り散歩に出掛け、気軽に挨拶を交わしている。また、花や野菜を下さる隣近所の方々と言葉を交わすなど交流を心掛けている。	毎月行っている塗り絵などの作品を気軽に立ち寄って観て頂いたり、近所の方とお茶を飲んだりして、日常的に親交を深めていきたい。また、お祭り等の行事に地域の方にも参加して頂く。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ほとんど地域との行事は交流が無いので、これからは老人会を始め、地域活動に参加していきたい。	手始めに老人会やお祭り等の行事近くの小学校の運動会に参加して地域との付き合いを実践したい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	高齢者の暮らしに役立つことがないか、話し合いを進め、取り組んでいる。また、介護についての相談等があれば対応したいと考えている。		地域の高齢者の暮らしに役立つ事を考えたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	十分意義を理解し、カンファレンス等を通し、各自が常に評価が高まるよう改善策を考えている。		職員一人一人が目標を掲げ、質の高い仕事ができるよう日々努力し、自己評価および外部評価の改善に取り組んでいる。
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	常に話し合いを行い。そこでの意見を十分にサービスの向上に活かしている。		参加者を増やしていきたい。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	現在、憩の内でのサービスの質の向上に取り組んでいる。		今後、市町村との連携も必要に応じて進めていく。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	勉強会に参加し、必要な方への説明を行い、支援している。現在、権利擁護センターに3名の方が関わっている。	○	機会があれば、研修等への参加を図る。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は一丸となって虐待がないように気を配っている。		虐待が見過ごされることがないように、注意を払い、防止に努める。また、研修等を通じ、全職員に周知徹底する。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学、面接等、段階的に実施している。ご家族のご不安、疑問点等にきちんとご説明し、ご理解いただくよう対応している。	分かりやすいパンフレットにより、誤解を避け、ご納得いただくよう、時間を十分とってご説明を続けていく。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	おやつの時間等、日常の会話の中で利用者の意見を聞きとり、運営に反映している。また、苦情受付を設置している。	話し合い、個人面談を通じ、ご意見、不満等を聞く時間を取っている。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族には利用者の日常生活の詳細をお知らせしている。健康状態は随時報告している。遠方の方には暑中見舞、年賀状等、季節の節目にお便りを出し、報告をしている。	1～2ヵ月に一度程度、利用者の写真を添えて近況の様子をお知らせしたいと考えている。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付を設置している。(重要事項説明書に記載している。)	意見箱を設けて、何でも気がついた事、苦情、不満等を書いて、箱に入れて下さるように、取組みたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1ヶ月に1回の割合で、カンファレンスを開催している。	カンファレンスを1ヶ月に2回に増やし、利用者についての意見交換ができるように努めてたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員の要望を叶えるように努めており、現在は実施できている。	曜日ごとに重なりを変えて、ご家族が面会しやすいようにする。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	認知症の利用者のため、離職しても分からないのが現状であるが、職員変更による利用者へのダメージが無いように、他の職員がカバーするように努めている。		利用者はどの職員とも馴染みにされており、離職による利用者への影響はない。
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修になるべく参加し、資格取得にも力を入れている。		職員が、研修、資格取得に時間を割けるよう、勤務体制等に気を配っている。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームの催し（ホームパーティー等）に参加している。		これからも、積極的に交流を図りたい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員で食事等を通じ、ストレスを軽減するように努めている。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各自の意見を聞く等し、把握に努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者が安心して暮らしていただけるように、常に利用者として話し、話を聞くようにしている。利用者の言葉に十分耳を傾け、本人自身から聴く機会を設けている。	利用者によく話をし、何を求めているか、常に考え実行している。どんな些細な事でも気軽に話して頂ける関係を築くよう努めている。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	困っていること、不安なこと、どんな相談にも対応し、ご家族がご安心されるまで、ご相談に応じるように努めている。	いつでも相談できる環境を作っており、どんな些細な事でもお伺いし、対応するよう努めている。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まず、緊急を要するかの判断をして対応している。普段は、何が必要かを利用者ご本人、ご家族、職員で見極め、常に相談をして進めている。	何が必要かを考え、色々な分野を視野に入れて対応に努めている。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学や体験入居をして頂き、利用者、ご家族と相談しながら工夫している。また、ご家族が離れている方が多いので、ご本人の状態を見ながら馴染めるよう配慮している。	何かを開始する時は、その人に合っているかを考え、まず、体験入居を利用して頂き、開始するようにしている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	なるべく家事に参加して頂いたり、出来ることはやってみたりする。やってみて頂いてお認め、言葉にして伝えるようにしている。出来なかったことが出来た時は介護者も嬉しいことを伝える。	料理、掃除、洗濯物の干し方・たたみ方等、利用者から学ぶべき点は多く、人生の先輩からお知恵を教えて頂くという姿勢を持つように努めたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員は利用者と喜怒哀楽を共有し、自分の家族以上に利用者を支えている。		利用者が幸せであるようにと願い喜怒哀楽を共有し、しっかりと支えていく関係は、十分出来ていると思われる。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者と家族とがより良い関係が築いていけるように心掛けている。		利用者のご家族が同じ日に集まれる環境作りに努める。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会等を随時受け付けている。手紙がきた時は、電話や返信を一緒にする。友人を始め、誰でもいつでも気軽に立ち寄って頂けるように、関係が途切れないように支援に努めている。		馴染みの人、友人、誰でも遊びに来て下さるよう努めている。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	相性を考え、座席配置等を考慮している。利用者全員が仲良く生活できるように、利用者同士が仲良く支えあい、助け合うよう支援している。		利用者同士、仲良く、協力し合って過ごされている。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去されたら、基本的には、それで関係が終わってしまう。		面会に行ったり、必要に応じて対応に努めている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来るだけ会話を持ち、意向、気持ちを知らるようにしている。本人の決定を重んじている。	本人本位に考え、その人の思いや暮らし方の希望を取り入れている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活歴を大切にし、その人らしい暮らし方が出来るようにしている。	その人が一番その人らしく安心して暮らせるようにと考えている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	施設としてのスケジュールを元に、本人の意思を尊重するように努めている。	それぞれに合った過ごし方を第一に考えている。各人の心身状態を把握し、安心して過ごせるように努めている。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族との話し合いは十分ではなく、本人の意見やアイデアを反映した介護計画を作成しています。また、看護計画等も参考に計画を立てている。	本人の意見やアイデアを生かし、本人がより良くなるような介護計画を作成している。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	常に介護計画の見直しを行い、現状に応じた計画を作成している。	カンファレンスを行い、利用者の変化を見逃さず、その都度、現状に応じた介護計画を作成している。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	常に、個別記録に記入し、情報を共有しながら、介護計画の見直しに活かしている。		もう少し詳しい記録を残したい。様式の一部を変更したい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の要望には職員一丸となって応じるよう努めている。		可能な限り要望を叶えて差し上げるよう努めている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している			これからは、地域の方々と共に協力しあい助けあっているように努めていきたい。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	利用者の状態・意向にあった介護サービスが受けられるよう、リハビリが必要な場合、デイケアなど検討している。		今まで、他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合う機会は少なかったが、今後、努力したい。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している			今後、必要に応じて、協働に努めたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		皮膚科、眼科、リハビリに関しても、治癒するまで利用者を連れて受診に努めたい。
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		1年に一回位MRを取って、認知症の進み具合、脳の状態を把握したい。
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		利用者の様子を常にメモし、少しでも異変があれば、気軽に相談し、質の高いアドバイスを受けられるように努めたい。
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		利用者が入院された時は、ほぼ毎日、スタッフがお見舞いに出掛けている。病気、入院しないよう日頃から十分に健康管理に努めている。
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		職員は知識習得に努めるとともに、今後、対応策を検討していく。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		職員は知識習得に努めるとともに、今後、対応策を検討していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>49</p> <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>本人が退去する時は、ご家族の意向がほとんどであるが、利用者が混乱しないように、相手方に情報を提供しダメージを防ぐことに努めている。</p>		<p>利用者の日頃の行動、性格等を詳細に書き出し、相手方に情報を提供し、利用者がスムーズに入って頂けるよう、事前に十分打ち合わせを行っている。</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50</p> <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人一人のプライバシーを徹底して守り、誇りを大切にし、言葉かけや対応を行っている。</p>		<p>プライバシーの確保の徹底には十分配慮している。入居者の誇りを大切にし、言葉かけや対応を行っている。</p>
<p>51</p> <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>利用者の希望を第一に考えている。本人が自分の言葉で説明し、職員はそれに従って支援している。</p>		<p>本人が何を望んでいるのか、本人の口から言えるように支援している。何事にも自己決定できるように支援している。</p>
<p>52</p> <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その日一日を利用者の希望に添って楽しく過ごして頂いている。一人一人のペースに合わせて。その人らしい暮らしが出来よう支援している。</p>		<p>その人らしく、楽しくのびのびとをモットーに利用者のペースに合わせて生活できるよう取り組んでいる。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53</p> <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>その人らしく、お洒落ができるよう支援している。美容は本人の望む店にも行けるが、2ヶ月毎にホームに来て頂いている。</p>		<p>身だしなみやお洒落には十分支援している。化粧をしたり、パックをしたりといつまでも若々しく過ごせるように努力している。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	声掛けし承諾が得られれば参加して頂いている。玉ねぎの皮むき、もやしのヒゲ等、利用者が喜んで手伝って下さる。毎日の食器拭きも利用者が進んでやって下さる。		利用者と一緒にカレーライス、おでん、おむすびと、もっと多くのレパートリーに取り組みたい。全員参加を目指し、毎日の食事の準備や片付けを当たり前の感覚にもっていききたい。
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	一人一人に合わせる事は困難であるが、各人の好みの物を、時に順番にお出ししたりと努力はしている。飲み物は、コーヒー、紅茶、牛乳、ココアと好きなものを出している。		利用者に喜んで頂けるように、おやつは希望をお伺いし、リクエストの多いものから順番に作って差し上げたり、なるべく季節感のあるものをお出しするようにしている。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の失敗は時にはあるが、何事も無かったように振る舞うようにしている。一人一人の排泄パターンに合わせ、声掛けをしている。		オムツの使用を無くすことを目標に、声掛けにてトイレ誘導を実施している。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は月木土としているが、のんびりと入れるように、配慮している。入浴剤を使用して、日頃の疲れがとれるようにしている。		”入りたいように入る”をモットーに、その人らしく入浴できるように見守りをしている。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	寝たいときに寝るのが基本であるので、その人のペースに合わせ、昼寝等して頂いている。布団は出来るだけ、日光に当て、シーツ等も清潔を物にするように努めている。		寝巻き、シーツ、布団干しは、日光の出ている時は出来れば、毎日でもと考えている。散歩、運動を取り入れ、適度な疲れを感じて頂き、ぐっすり安眠出来るようにしている。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	歌を唄ったり、散歩に出かけたりと身体を動かし、季節を肌で感じるように努めている。洗濯干し、洗濯物たたみ等、役割を決め、生きている実感を感じて頂きます。		グループで過ごすのは、時にはストレスを感じる事もあると思うので、なるべく自然の内に過ごして頂き、花、鳥、空、と見て楽しんだり、その人の気晴らしに付き合ったりしていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者がお金を持ってドラッグストア等で買い物へ出かけたりしている。		利用者と一緒に買い物に出かけ自分の所持金で必要な物が買える機会を増やしていきたいと考えている。
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	親戚の方々や職員と一緒に戸外へ出かけることはあるが、一人一人のその日の希望に添っては今のところない。		これからは一人一人の希望を聞き、職員が連れ添って出かける機会を増やしていきたいと考えている。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	行きたいという希望があれば、職員がお連れするが、今のところ、行ってみたいという希望はない。		利用者が家族により、普段いけない所にでかけたりしておられる。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人自らが電話するというのは、ほとんど無い。時々職員が電話をし、電話で話をして頂くことはある。		電話できる利用者には、自由に電話して頂いている。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問は歓迎している会話しやすいよう、居室、共有部等、面会場所は自由に使ってもらっている。		どなた様でも、気軽に訪問して頂けるように気持ちを込めておもてなしをしていきたいと考えている。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は全くない。		身体拘束は絶対にしないケアに取り組んでいる。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	どの部屋にも鍵はなく、部屋には自由に出入りし、自分の家の感覚で過ごしておられる。勿論、玄関をはじめ、事務所等も鍵はかけず、鍵をかけないケアに取り組んでいる。ただし、帰宅願望が強く出た時は、安全の為（表がバス通りで交通量が多い）、施錠することもある。		どこの部屋にも鍵はなく、自由に自分の家の感覚で過ごしておられる。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は安全のために一日を通して利用者を見守りしている。夜間は定時の巡視に加え、物音に対し、随時確認している。		職員は一人一人が安全で生活出来るよう、昼夜を通して、常に見守りをしている。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険な物品は入居時に制限し、施設の備品で代用出来る物は使って頂くなどして、必要最小限で生活して頂いている。		生活に必要な物品だけでは無く、人生の思い出の物なども積極的に管理している。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒を初め、職員が一丸となり事故防止に取り組んでいる。	○	一人一人、必ず見守りして事故が起こることなく過ごしていますが、研修の機会があれば、出席したいと思っています。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的には行っていませんが、職員各自が勉強し応急手当が出来る位の訓練はできている。	○	機会があれば、勉強会に出席しているが、知識の習得・訓練の重要性から考えても、定期的な勉強会の参加をしていきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災訓練等の避難訓練はしているが、地域の人々の協力を得られる働きかけが不十分である。		今後努力して、少しでも安全に利用者が避難出来るように、地域の人々の協力が得られるように働きかけていきたい。又、地震の際のエレベーターの対策も考える。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切に した対応策を話し合っている</p> <p>なかなか、家族の方々とは、お会い出来ないた め、随時電話連絡し、説明・話し合いを行って いる。</p>		<p>家族等には、なかなかお会い出来ませんが、電話 連絡することで、親しい関係作りをし、何かあれ ば、連絡を取り合えるようにしている。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努 め、気付いた際には速やかに情報を共有し、 対応に結び付けている</p> <p>1/Wの訪看、2/Wの応診、一日2回のバイタル チェックを初め、体調の変化や異変を常に観察 しており、適宜、申し送りや相談、受診で対応 している。</p>		<p>バイタルチェックをするなど、体調の変化を気 遣ってはいるが、早期発見に務めている。</p>
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について理解して おり、服薬の支援と症状の変化の確認に努 めている</p> <p>薬の目的・副作用等々勉強しており、定期処方 の変更時は、カンファレンスで話し合うよう にしている。施設が薬とその説明書を一緒 に管理しており、自由に見ることができる。又、服薬時は飲 み終える所を目視にて確認している。</p>		<p>全員、薬を服薬されているので、用法・用量・目 的・副作用等を勉強し、入居者に合った薬を服薬 出来る様にする。</p>
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解 し、予防と対応のための飲食物の工夫や身 体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p> <p>繊維性の食べ物の摂取、水分補給、散歩や腸の体 操を行い便秘の解消に努めている。薬を使用する 場合は、下痢にならない様に調整している。</p>		<p>排便チェック表を作っています。</p>
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎 食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた 支援をしている</p> <p>毎食後の口腔ケアを実地している。1/Wの歯科 の応診により指導・治療を受けて口腔ケアの支援 を行なっている。</p>		<p>義歯の人は、週に1回は必ず、ポリデントして いる。</p>
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている</p> <p>栄養士の作成した献立をもとに入居者が食 べやすい様にアレンジして提供している。毎 食事・おやつ・夜間時に声を掛け、充分 な摂取が出来る様、配慮している。</p>		<p>身体・病状を考慮した栄養・カロリーを一人 一人計量し、提供している。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	外からの帰設時・毎食前の手洗い・うがいの徹底している。予防接種も行っている。必要に応じて、マスクの着用もしている。又、保健所の講習に参加し予防・対策の勉強をしている。		今後も職員全員が心掛ける様、呼びかけていきたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具等の消毒・食器類の消毒、新鮮で安全な食材の使用と管理には、充分努めている。		毎日の消毒を初め、冷蔵庫・食器棚等の衛生管理をしている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	車椅子でも安全且つ安心して出入り出来る様に、物を置かないようにしている。靴の脱履がしやすい様に腰掛を設置している。	○	どなた様でも、気軽に訪問して頂けるように親しみやすい玄関や建物周囲の雰囲気作りを工夫していきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の変化により家具の移動をしたり、自然の光や空気の入る落ち着いた空間作りをしている。また、明るくゆったりと利用者が過ごせる様に音楽や季節感を取り入れている。		共用の空間は、清潔で明るく、和やかな環境作りをしている。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	建物内の様々な箇所にソファを置き、仲良く談話したり、一人になれる空間を提供している。		読書をしたり、TVを見たり等、思い思いに過ごせる様に配慮している。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>利用者の昔の写真、若い時の大切にしていた物・面会に来た時に一緒に撮った写真を飾ったりして、居心地良く且つ不安の無いようにしている。</p>
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気の上よみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		<p>利用者の安全を第一に考え、一人一人が自立した生活が出来る様にしている。</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		<p>自分の事は出来る限り自分でやってもらい、生きている実感と責任感を持って生活して頂ける様、常に工夫している。</p>
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		<p>色々な野菜を作って楽しんだり、美味しく食べたりしている。野菜や花の成長を楽しんでいる。</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

出来る事は自分でやるをモットーに、自分らしく自然体で過ごして頂いてる。利用者同士が協力しあい助け合う時を大切にし、利用者中心になって、何事も行ってます。職員は、不安要素を取り除き見守りすることで、利用者は、生き生きと自信に満ち、明るく、楽しく暮らしています。